

心の散歩道

280

毎月発行

※ポストに入れていただきましたことをお許しくださいませ。

砥石

気の合う者ばかりではないこの世界
なぜか自分の苦手なタイプの人間ほど
かならず近くに居たりします

ですが たとえ苦手な相手でも
あなたのためになる人かもしれません

ガラスのかたまりにしか見えない

ダイヤモンドの原石も

不要な部分をけずり

根気よくみがき上げることで

光り輝く宝石になります



まわりに居る人たちのなかに

あなたにとって「砥石」となる人が居ます

そのような人たちのおかげで

あなた自身が光り

輝くことが出来るのです

■私たちの信仰させていただいている神様は

天理王命(てんりおうのみこと)様と申し上げます。

何も無いところから人間世界を創造された神様です。

私たちは、天理王命様を親神様(おやがみさま)と

お呼びして、お慕い申しております。

■天保九年(1838)、親神様の御教えが、**教祖(おやさま)**

中山みき様によって、初めて伝えられました。

早き道、遅くの道

現代社会はスピード重視。

物事を進めるにあたっては

できるだけ速やかに

行動することを求められます。



ところが、人間の親なる神様にしてみれば

どんなことでも、早いから良い、

また、遅いから悪い、

ということにはならないのです。

「早き道は早きにならない、

遅くの道は遅きにならない。」

(明治二十四年一月十四日 およしづ)

急いだからとごん

早く結果が出るわけではないし

ゆっくりしたからとごん

結果が遅くなるわけでもありません。

大切なことは、なにをするべきかを

しっかりと見極めること。

自分のやるべきことを夙(むす)めせば

あとのことは天にまかせて

あわてずに、あせらずに

将来を楽しみに歩めばいいのです。